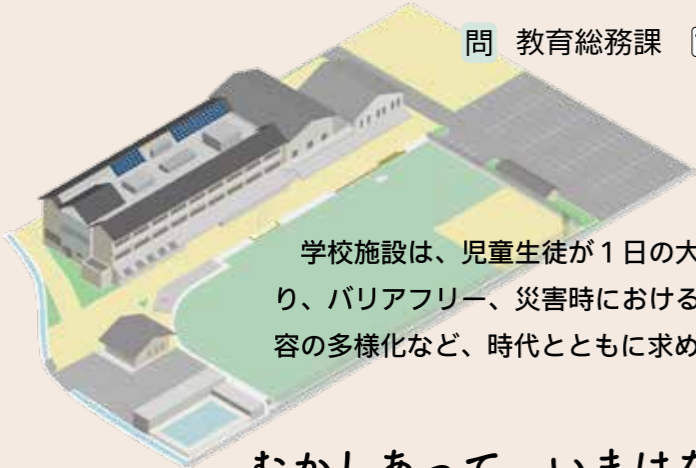


# 学校施設のむかしといま

問 教育総務課 TEL (36)5563・FAX (32)3352



学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場所であり、バリアフリー、災害時における機能、環境への配慮、また教育内容の多様化など、時代とともに求められる機能が変化してきました。

## むかしあって、いまはないもの

### 一、プールの腰洗い槽・洗眼器



腰洗い槽は消毒効果が少ないこと、洗眼器は使い方によって目を傷つける恐れがあることから使われなくなりました。

### 二、飼育小屋



ウサギやニワトリ、ヒツジやクジャク。さまざまな動物とふれあえた飼育小屋。鳥インフルエンザの流行やアレルギーへの対応のためなくなりました。

### 三、焼却炉



ごみやプリントを燃やしていた焼却炉。ダイオキシン類の排出削減やごみ減量化の取り組みなどを目的に撤去されました。

### 四、ダルマストーブ



石炭や薪を燃やし、寒い冬にかじかんだ手を温めたストーブ。後に石油ストーブに置き換わりました。

他にも・・・映像・音響機器が備えられていた視聴覚室、英語の学習で利用したLL (Language Laboratory) 教室、コンピュータ教室、給食室なども姿を消しました。黒板前の教壇も学校からなくなりつつあります。

むかしといまの学校を左右にならべてみたよ。  
みんなは自分の学校が分かるかな？  
むかしの学校を周りの大人に聞いてみよう！



今回は、第2期近江八幡市教育振興基本計画の「学校施設・設備の整備」、「学校施設のユニバーサルデザインの推進」、「新時代の学びを支える教育環境の充実」などの施策の実施例を紹介し、学校施設のむかしといまの違いをご覧ください。

## いまあって、むかしはないもの

### 1、バリアフリー



エレベーター・スロープを設置し、学校を利用する誰もが利用しやすいよう整備を進めています。

### 2、災害時のための備え



学校は災害時の避難所となることから、太陽光発電や浄水装置、備蓄庫などを備えています。

### 3、エアコンディショナー



猛暑の夏、熱中症予防などのために学校でもエアコンは当たり前の時代に。暑い日も寒い日も教室は快適になりました。

### 4、電子黒板・タブレット



電子黒板や1人1台のタブレット端末によりICT (情報通信技術) を活用した学習が行われています。

他にも・・・各家庭での普及状況やバリアフリーの観点からトイレの洋式便器が増えたり、省エネルギー対策のひとつとして照明器具のLED化が進んだりしています。なお、今回取り上げたものは学校によって計画中のものもあります。